

従事している業務について

田川支部 田川県土整備事務所 山中 淳靖

1. はじめに

私は福岡県に入庁し今年で3年目になりました。福岡県田川県土整備事務所に配属になり、2年間道路維持課交通安全係で従事したのち、今年度からは道路建設課建設第2係に所属しています。今回は従事している業務内容について紹介したいと思います。

2. 具体的な業務内容

まず道路建設課の業務内容は、主に県道のバイパス道路の建設、現道の拡幅及び橋梁の架換です。その中でも私が担当しているのは、橋梁の架換です。現在福岡県では、安全性・信頼性を確保することを目的とし定期点検による橋梁の状態の把握、予防的な修繕および計画的な架換を進めており、今回私が担当した橋梁が国道322号の井堀橋上部工工事です。



(写真1)



(写真2)

写真1は橋桁を架設する際に使用する200tクレーンです。このクレーンは、組立解体ができるため、施工現場には細かく分解したパーツを搬入した後、現地で組立ます。(写真2)組立には別のクレーンを使用します。



(写真3)



(写真4)

橋桁は工場で製作し、ポールトレーラーで現地に搬入します。(写真3) 今回の現場は合計16本の橋桁を使用しました。次にクレーンで橋桁を1本ずつ架設します。16本架設完了後、両端からPC鋼線を使用し横締めを行います。(写真4)



(写真5)

横締め完了後、間詰コンクリート打設や地覆工、伸縮装置工などを施工し、今回工事は完了です。橋梁架替事業としては、この後防水工や橋面舗装工を行い、迂回路から現道へ切り替え完成になります。(写真5)

3.おわりに

今回橋梁上部工工事を担当させていただき感じたことは、地元住民への配慮と安全対策の大切さです。橋梁架替事業は、迂回路を設置して工事を行うため地元住民の生活に大きく影響するため、事前に工事日程や工事による振動や騒音が発生する恐れがあることなど説明し、納得していただくことが大切です。また迂回路を設置している区間はカーブになっているため、夜間や降雨・降雪時は事故が発生する危険性が高くなります。日頃から安全対策に気を配り、事故なく事業が進むように取り組みたいと思います。